

オゼコウホネの分布

分布は極めて珍しく、田代沼の他に、月山、南八甲田、八幡平長沼、早池峯、尾瀬ヶ原などに限られています。わが国固有の植物で、寒冷な気候が支配した時代の遺存植物であると考えられています。なお、母種のネムロコウホネの分布は、北海道東部、千島、樺太、カムチャッカ、ヨーロッパの湿原池沼に分布しています。

オゼコウホネの所在地

所在地

秋田県雄勝郡皆瀬村大字畠等字小安奥山ほか4
国有林43林班と小班、イ小班

面積

田代沼 (43林班イ小班) 1.15ヘクタール
周辺地域 (43林班と小班) 17.58ヘクタール
計(田代沼水生植物群落保護林) 18.73ヘクタール

法指定等

田代沼 水源かん養保安林
栗駒国立公園 (第3種特別地区)
鳥獣保護区
レクリエーションの森
周辺地域 水源かん養保安林、保健保安林
栗駒国立公園 (第3種特別地区)
鳥獣保護区
レクリエーションの森

オゼコウホネの原色図



秋田 国道13号 90km 湯沢 国道398号 30km 小安峡 国道398号 7km
栗駒道路分岐点 国道398号 5km 田代沼

お問い合わせ

東北森林管理局指導普及課
TEL018-836-2214
秋田森林管理署湯沢支署
TEL0183-73-2164
秋田森林管理署湯沢支署
増田森林管理センター
TEL0182-45-3056

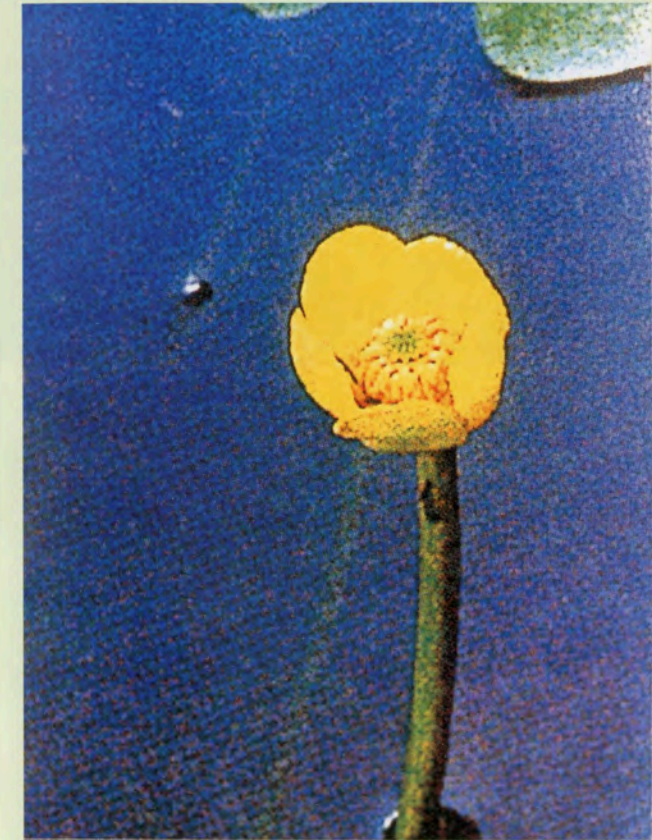
田代沼水生植物群落保護林

オゼコウホネ



林野庁
東北森林管理局

開花したオゼコウホネ



オゼコウホネの特徴

スイレン科コウホネ属で、高山や北地の池沼に生える多年生の水草です。

根茎は太く泥中をはって成長します。水中葉は短い柄があり長卵形です。水上の葉は広楕円形で長さ8~15センチ水面に浮かんでいて、葉裏の中脈に沿って毛が生えています。長い花茎を水面に出し黄色の花を1個開きます。

花は径2~3センチ、萼片は5個で花びら状に見えます。内部に小形で多数の花弁と多数の雄しべがあり、柱頭盤は径8ミリで深紅色、花柱は8~18個あります。

母種のネムロコウホネは柱頭盤が黄色なので区別ができます。和名は尾瀬に生える河骨の意味です。開花時期は7月~8月です。



田代 (842m)

田代沼を囲む田代や森林は、手つかずの状態で見守りされています。

田代沼の周囲は180年以上のブナを主とした広葉樹に囲まれています。

木道、展望台を設置し見学者による植生の踏圧を防止しています。

旧湯浜街道

国道398号が開通するまで花山村、仙台市までの人の往来、物資の交易の要路でありました。



田代沼植物群落保護林の設定

山地の腐植酸性の池沼に極めて稀に生育するオゼコウホネなどの水生植生を、将来にわたって保護していくため平成6年3月22日に設定しました。

田代沼の主な植物

栗駒山西山腹、宮城県との県境近くにある直径70メートルほどの田代沼には、ヒルムシロやヒツジグサのほかに稀産種オゼコウホネが生育するなど保存の価値は高いとされています。湿原の周辺部はミツガシワ、サワギキョウ、ヨシなどが縁どり、ヌマガヤ、タチキボウシ、ミズギク、エゾノリュウキンカ、オニシモツケ、コバイケソウ、カキラン、ミタケスギ、ミカズキグサなどの低層湿原の植物群落が成立しています。

オゼコウホネの外に見られる多年生植物

ヒルムシロ



ヒツジグサ



田代御助 (お助け) 小屋跡・三本スギ

湯浜、文字街道を通る人の休憩・宿泊小屋のあった跡には、「お助け小屋跡」の石柱が建っています。

三本スギは、およそ900年前、前九年の役に源義家がお手植えしたと言われています。